

1月31日(月)「慮るとは・・・」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。



明日から2月ですね。

さて今朝は校長先生から問題を出します。漢字の問題です。

まずは、初級編。次の漢字は、何と読むでしょうか。

第1問「心」第2問「田」第3問「七」

全問正解できましたか。

次は、上級編の前に、クイズです。「クイズ この3つの漢字を含む漢字一文字を答えましょう。」難しいですね。正解は「慮」。このような漢字です。見たこともないかも知れませんね。

では、上級編。この漢字に「る」という送り仮名をつけた「慮る」は、何と読むでしょうか。正解は、「お・も・ん・ぱ・か・る」です。「おもんばかり」ではありません。「ば」ではなく「ぱ」です。耳慣れない読み方ですね。そのため、大人でも正答率はかなり低いようです。「ぱ」と読めたら漢字博士です。

「慮る」とは、もともと、「おもいはかる(思い図る)」からきているそうです。「心くばり」とか「気くばり」という言葉が近いかも知れません。「相手を思いやる」ということです。例えば、「友達の気持ちを慮る」といった使い方をします。

さて2月は「ふれあい月間」です。この「慮る」＝「思いやり」を大切にしていきましょう。相手がだれでも同じように、相手の気持ちを慮ってください。

「慮る」ことができる人は、自分も幸せになりますし、相手のことも幸せにできる人です。

「思いやり」あふれる学校になったら、毎日がもっと楽しくなりますね。

「は・あ・と」のと、友達と仲良く過ごしていきましょう。

それでは以上でお話を終わります。今日は転入生の紹介があります。

引き続き見てください。(礼)